

さわやかで見やすく ほしい情報をわかりやすく

「市議員って毎日何してるの？」にお答えします。日々の活動をホームページでご報告しています

www.wada-naoya.jp

和田直也の
ホームページ
日々更新中

Q & A
実際の質問(60分)の要約です

Q1. 自転車による総合交通戦略について 「歩くことを基本としたまちづくりへ向けて、政策の基盤整備を」

【総合交通戦略調査費】 まちのにぎわいを取り戻すために岐阜市が進めるあらゆる方針にも合致したひとつの大切なキーワードは、「歩くことを基本としたまちづくり」ではないかと思えます。環状道完成に伴い、既に市街地への自動車乗入れが減少傾向にある中、今後は中心市街地の車道1斜線分を自転車専用道へ転換を図るなど政策転換も期待できそうです。

【岐阜駅北口の自転車環境】 岐阜駅北口には横断歩道がないために、自転車は大きく迂回する必要があります。さらに、名鉄岐阜駅前のわずか約2メートルの狭い歩道に歩行者・自転車の通行が過密していることを考えると、平面交差など交通環境の改善が課題になってきているように思えます。単に通行量を調査するだけでなく、その移動実態も聞き取り調査し、政策基盤を整えてほしいと思います。

A. 藤沢滋人 企画部長 / 後藤昇 基盤整備部長

集約型都市構造の実現に向けたまちづくりを目指し、総合的な交通戦略を策定することとしています。特に自転車については、自転車の走行環境について詳しく調査を行い、その成果を踏まえ総合交通戦略を策定していきます。【企画部長】名鉄岐阜駅周辺は、自動車交通量も多く、危険な状況にあります。こうした自転車利用の課題を解決するため、主要な地点における自転車交通量の実態調査や、「どこから来てどのルートを通るか」などのアンケート調査も実施していきます。この調査結果をもとに、走行環境の問題点を把握し、自転車走行ルートの検討をすることとしています。また、将来の自動車交通量に基づく必要な車線数の見直しに併せて、自転車道などの計画を作成していきたいと思えます。【基盤整備部長】

Q2. JR岐阜駅前北口広場のソフト的な活用法について 「大道芸やフリーマーケットで楽市楽座・にぎわい拠点へ」

駅前広場が完成すると、地面の広場は基盤整備部、植栽の緑地部分は都市建設部、トイレは環境事業部、何かイベントをやろうとすると商工観光部、など対応窓口が異なり、利用者がたらいまわしになるかもしれない、ということは容易に想像できそうです。駅前広場が完成したらぜひイベントをやってみたい、運営側に立って岐阜市にぎわいに役に立ちたいという若い芽も始まっています。部局間における総合的な窓口の在り方についての検討は？

A. 河島和博 都市建設部長

公共性を損なわない範囲で、どのような利用方法が良いかを検討します。具体的には、公的な主体が何らかの形で関わることを要件とすることで公平性を確保しつつ、できる限り弾力的な運用を行っています。また、利用料金については、他都市の取り扱い状況を調査し、適切な料金水準や運用方法について研究し、関係部局とも調整したいと考えています。

Q3. 生涯学習と人材のマッチング機能について 「人材の還元・次の世代へバトンタッチのできる地域へ」

長い時間をかけて開いている長良川大学の講座で学び得た情報や知識、あらゆるノウハウを次の世代へ還元していける仕組みが必要な時期にきているように思えます。今後は有資格制度などを設け、新たな指導者たちによる「バトンタッチ」のできる人材の還元も大切にしてほしいと思えます。また、学校の課外学習講師として活躍して頂くなど、人材バンクとしての市民参画部には、部局間におけるマッチング機能も求められると思えます。

A. 橋本直樹 市民参画部長

昨年度スタートした「団塊の世代のための市民講師養成講座」は、培われたノウハウを次の世代へ還元・バトンタッチしていくため、プレゼン能力を養っていただく連続講座です。既に講師として登録頂いた方々のプロフィール集を作成し、市内50箇所の公民館等へ配布したところです。今年度からは、新たにまちづくりに参加頂けるよう企画を進めています。

Q4. お役所ことばの改善について 「きめ細やかなサービスが行き届くような心遣い、言葉遣いを大切に」

昨年の9月定例会において、「公共施設の使用許可申請書」の在り方について当時の行政管理部長にお尋ねしました。この質問に対する答弁は「許可とは違う言葉を使えるかどうか、利用者の方をお客様と捉えた用語の変更とあわせて検討したいと思えます」というものでした。その質問から1年が経過しました。その後の検討はいかがだったでしょうか？使用許可申請書のその後の対応を含めて、お役所ことばの改善の現状についてお尋ねします。

A. 山田正 行政部長

直営管理の30の条例に係る施設及び指定管理施設89箇所について調査しました。市民目線で見たとき、公共施設の使用申し込みをする書面は、「使用許可申請書」とする必要はないと判断したところです。今後、公共施設を管理する各部に対し、規則改正を依頼したいと思います。親切な言葉づかいは最も基本的なことであり、一層の周知・徹底を図っていきます。

Q5. 市政進捗状況と公開のあり方について 「議会で答弁した内容・政策はその後どうなっているの？」

市民の皆様は議会動きをご報告する上では、議会で質問し、答弁をひき出した後、「そしてこうなりました」という+アルファが大切な情報となります。財政部では、答弁後の進捗を報告書で把握していることですから、今後は、市政報告の重要な情報として、各議員の問い合わせには積極的にオープンにして頂きたいと思えます。現在、議会運営委員会では、「議会だより」の発行を検討するかどうかの検討がなされています。全国の中核市の中で、議会だよりを発行している都市が大半という中で、私は前向きな検討が進むことを願っています。しかし、議会だよりのない現状においては、例えば「広報ぎふ」を通じて、「議会質問に基づいてこんな政策が実現しました」といった情報提示も必要ではないかと思えます。

A. 岡本和夫 財政部長

議員が紹介された報告書は、議員からの提言や要望などに対し、現在どのように対応していることを把握することを目的とした行政内部資料であり、公表を前提としたものではありません。言い換えますと、対応は遅れていないか、などを行政内部でチェックすることで、効率的な市政運営にスピード感をもって行うものです。各種事業は、議員の指摘を受けて行うものが多くあります。それらを含めて、予算案の発表や記者発表など機会をとらえて市民の皆様にお知らせしているところです。なお、質問した議員本人からの問い合わせについては、ケースバイケースではありますが、議員の意向に沿うよう対応していきたいと思えます。

Q6. 市岐商と立命館岐阜高校の構想について ※表面に掲載しています

08年9月10日 本会議質問
最年少 岐阜市議員 28歳

和田直也

皆様の声をお聞かせください

身長155センチ、小さいけれど
頑張ってます。小さな彼を
みんなで大きくしよう！



和田直也を大きくする会

〒500-8851 岐阜市大宝町 1-5
TEL+FAX 058-251-2638
E-mail office@wada-naoya.jp
URL <http://www.wada-naoya.jp/>

「手作り勉強会」はじめました！

選挙公約に掲げた「議会質問勉強会(議会質問の原稿をみんなで作る手作り勉強会)」を始めました。素朴な疑問や要望をそのまま市議会の質問に反映させる手作り勉強会です。この勉強会を通じて、今回初めて質問(Q1)に反映しました。毎月1回休日朝、岐阜市神田町の円徳寺にて開催中。お問い合わせは上記まで。